

令和7年度第3回  
湘南東部地区保健医療福祉推進会議

令和8年2月3日（火）  
ウェブ開催

## 開 会

(事務局)

それでは定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第3回湘南東部地区保健医療福祉推進会議を開催いたします。私、本日、石原会長の議事進行までの間、司会を務めます、神奈川県医療企画課の佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、会議の開催方法等についてお知らせをいたします。本日はウェブ会議による開催でございます。ウェブ会議進行の注意事項につきましては、会議前にも事務局からアナウンスをさせていただきましたが、事前に会議資料とともにお送りいたしました「ウェブ会議の運営のためのお願い」と題した資料をご確認ください。

後ほど議事録は公開いたしますので、本会議は録音をさせていただいております。ご容赦いただきますよう、お願いをいたします。

次に、委員の出欠です。本日の出席者は、事前にお送りした名簿のとおりでございますが、本日、磯崎委員がご欠席となりまして、代理といたしまして、神奈川県医師会の小松理事にご出席をいただいております。

次に、会議の公開について確認させていただきます。本日の会議につきましては、原則として公開とし、開催予定を周知させていただきました。傍聴者につきましては事前受付とさせていただきます、ウェブでの視聴が4名いらっしゃいます。ウェブで傍聴される皆様にご覧いただけますが、本会議の写真撮影、ビデオ撮影、録音・録画をすることはできませんので、ご承知おきください。

公開の議題につきましては、議事録で発言者の氏名を記載した上で公開をさせていただきます。

本日の資料につきまして、事前にメールにて送付をさせていただきました。お手元に届いておりますでしょうか。もし、本日お手元に届いていないという委員がいらっしゃるようでしたら、大変申し訳ございません。本日は資料を画面にて投影もいたしますので、そちらをご確認いただきますようお願いをいたします。なお、資料につきましては、改めて送付をさせていただきます。

それでは、以降の議事進行を石原会長にお願いをいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(石原会長)

藤沢市医師会の石原です。令和7年度3回目の湘南東部地区保健医療福祉推進会議ということで、今年も皆さん、よろしくお願ひしたいと思ひます。円滑な議事の進行に尽力してまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

## 議 事

### (1) 新たな地域医療構想の策定に向けた検討

(石原会長)

早速、議題に入りたいと思ひます。議事の(1)新たな地域医療構想の策定に向けた検討ということで、事務局から説明をよろしくお願ひいたします。

(事務局)

(説明省略)

(石原会長)

ありがとうございました。今、事務局から、新たな地域医療構想の策定を踏まえた令和8年度の想定スケジュール案と、それから新たな地域医療構想の策定に向けての皆様からのご意見をいただきたいという事項の2点について説明がありました。本日は当地域として意見をまとめる場ではないため、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいということです。改めまして、新たな地域医療構想の策定に向けて、構想区域、入院医療と外来・在宅医療、介護連携の一体的な検討に向けた協議方法等、以上の2点について、忌憚のないご意見、ご質問等があればお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

県医師会の石井先生、どうぞ。

(石井委員)

ご説明、ありがとうございました。非常に分かりやすくまとめていただきましてありがとうございます。

新たな地域医療構想は、今まで病床の話がメインだったので、この二次医療圏ということでよかったのですが、これから介護、在宅、外来という部分が入ってくる中では、やはり二次医療圏では少し圏域として、区域としては大き過ぎであり、市町村が中心になってくるのではないかなと思っております。

前半部分は、どうしても医療法等の絡みで、構想区域の決め方ということで、国の示す

ところのお話もありましたけれども、ただ、あまりこれにとらわれ過ぎても、やはり現場のことは現場の方が知っているということなので、国のガイドラインというところにあまり縛られてしまってはどうかという中では、構想区域の結合という選択肢はあるけれども細分化という選択肢は難しいのではないかなというように12枚目のスライド等を書いてありましたけれども、そのあたりも少し柔軟に考えたほうがいいのではないかなと思っております。

後半のほうに、より具体的に、新たな地域医療構想を考えていく協議体のところで、既存の会議の活用ということで、これは本当に無駄に会議をつくってもしようがないと思いますので、既存の会議をうまく使っていただきたいなとは思っております。ただこれから、会議、構想区域、どういう会議体にするかということもそうですけれども、実際、参加する方ですよね。プレーヤーが大分変わってくると思います。今まで以上に、医師のほかに、訪問看護、ケアマネ、あと特に高齢者施設とか包括支援センター、いろいろなプレーヤーの方が増えてくると思うので、各テーマによって呼ぶ方を変えていく。そのあたり、実際の市町村行政の方が今何かご意見があれば、お聞かせ願いたいのですけれども、よろしいでしょうか。

(石原会長)

ありがとうございました。今、石井委員からもお話がありましたけれども、実際に医療・介護連携ということで、介護事業を主体的に取り組んでいる各市町村のご意見を伺いたいというようなお話もありましたので、まずは各市町村からお話を伺いたいと思いますけれども、まず藤沢市さんから、ご意見いかがでしょうか。よろしく願いいたします。

(齋藤委員)

ありがとうございます。藤沢市です。藤沢のほうは、在宅医療推進会議といったような形で、そういった会議体のものをやっておるのですけれども、介護との連携というよりは、ちょっとそこは分かれてしまっているかなというようなところがありますので、そういったところは、連携をしながらやっていく必要が出てくるのではないかなというのは感じたところでもございますので、今後どういう形でやる方法がいいのかということは、またうちの市のほうも福祉部と分かれているということもあって、そういったところも連携をしながら取組ができればと感じたところがございます。

以上です。

(石原会長)

ありがとうございました。次に、茅ヶ崎市さんはいかがですか。

(大久保委員)

保健所の大久保です。構想区域について、あえてここで強く変える必要があるとは認識していません。このままでいいのではないかと思います。

あと、介護との連携については、この事務局案どおりでよろしいかと思います。ただし、保健所として、介護連携等に関してですが、介護はうちの部署ではなくて福祉系です。縦割り行政になっていて、私からその点を深くはコメントできませんが、介護関係の方をお招きしたり、また、市の行政の会議体と合同でやるということに関して、特に異存はありません。

以上です。

(石原会長)

ありがとうございました。では寒川町さん、どうですか。

(小林委員)

どうもお世話になります。寒川町につきましても、区域についてはこのとおりでいいのかなと今考えてございます。

介護の連携については、今お話があったとおり、今後検討が必要なのかと考えてございます。

以上でございます。

(石原会長)

ありがとうございました。今、市町村からのご意見をちょっとお伺いしましたけれども、石井委員、どうぞ。

(石井委員)

貴重なご意見、ありがとうございます。やはり介護との連携という部分で、少し縦割りという部分で難しいのかなというのが私の印象でもございますので、そのあたり、ご苦労されると思うのですが、ぜひ調整会議等で、こういうところが困っているということがございましたら、県のほうでも好事例等をお話ししたいなと思いますので、またよろしく願い申し上げます。

私からは以上です。

(石原会長)

ありがとうございました。今のお話を聞きまして、ほかの委員の方からご意見等はござ

いますか。

鈴木委員、どうぞ。よろしくお願ひいたします。

(鈴木委員)

サービス提供側として、あくまで参考意見ということで申し上げますと、特に圏域についてのコメントはありません。

サービス提供をする会議体の参加メンバーについて、一つ参考意見を申し上げたほうがいいかなと思ひましたので、発言させていただきます。手前どもは施設系サービスになりますので、在宅に対する受皿としての入所施設というのがあるのですけれども、ご指摘のとおり、在宅の介護連携については、サービス内容としてはやや限定的です。その際に参加するメンバーとしてイメージできるのが、在宅医療も含めて介護連携として出てくるのが、先ほどお伝えしました受皿としての施設サービスのほかに、具体的介護サービスを提供する在宅系、これは訪問系とか通所系、訪問は訪問看護等があるかと思うのですが、そういったグループの参画を求めるといふのは一つあると思ひますし、あと、先ほどご意見が出ました居宅支援事業所は、そのプランの構築において、医療と介護の連携もプランの中に想定することは予定されていますので、その点、そのプランナーと、あと、実質サービスを提供する団体がオブザーバー参加するといふのは、メンバーの構成として必要なかなと思ひましたので、参考意見として述べさせていただきます。

以上です。

(石原会長)

貴重な意見、どうもありがとうございます。ほかにはどうでしょうか。

本当にこの会議も守備範囲が広がってしまつて大変なのかなと思ひますので、またいろいろ皆さんにご意見をいただき、いい会議にできればと思ひますけれども、ほかには特によろしいでしょうか。

それでは、事務局のほうは、本日いただいた意見を踏まえて、今後の作業を進めていただければと思ひます。

## (2) 令和7年度紹介受診重点医療機関の公表

(石原会長)

続いて、議事の(2)令和7年度紹介受診重点医療機関の公表について、事務局からご

説明をよろしくお願いたします。

(事務局)

(説明省略)

(石原会長)

ありがとうございました。今、令和7年度の紹介受診重点医療機関の公表、継続のお話がありましたけれども、条件として特に問題はないような感じはしますけれども、委員の先生方で、何かご意見、ご質問等ございますか。特にないですか。

それでは事務局は、また継続して作業を進めていただければと思います。よろしくお願いたします。

用意された議案は以上となります。

## その他

(石原会長)

3番の議案として、その他ですけれども、何かございますでしょうか。

木原委員、どうぞ。

(木原委員)

湘南病院協会の木原です。地域医療セミナーのご案内をさせていただきたいと思います。2月7日の土曜日の午後2時半から、藤沢市辻堂北口駅前のアイクロス湘南で、神奈川県病床機能分化・連携促進事業地域医療セミナーを開催いたします。講師は神奈川県地域医療構想アドバイザーで神奈川県医師会理事・神奈川県病院協会副会長の小松幹一郎先生で、「全く新しくない新たな地域医療構想を考える」というタイトルで、講演会、セミナーを行います。2月6日まで、ご参加を希望の方は、湘南病院協会事務局である湘南ポスピタル担当小林までお電話、または直接ご来場ください。

以上となります。

(石原会長)

ありがとうございました。小松先生、何かコメントはありますか。

(小松委員)

今日もそうなんですけれども、この先は、誰がどうするのという話が非常に大事になるということと、あとは、やはり国が言っていることをちゃんとやるというよりは、地域で

どうしっかりやるかという、その話を中心にさせていただければと思います。やはり「新たな」とか、これから急性期拠点病院がどうか、何となく概念的なものが国から下りてくると、それに振り回されてしまって、本質的な議論ができないということにならないように、ちょっとご参考程度にお話をさせていただければと思います。ちょうど選挙前の土曜日なので、大変お忙しい、騒がしい時期ですけれども、もしよろしければご参加いただければと思います。よろしくお願いします。

(石原会長)

ありがとうございました。ぜひ、関係の方々にご出席いただければと思います。

そのほか、その他で、ございますか。

篠原先生、どうぞ。

(篠原委員)

いろいろ丁寧に説明していただいてありがとうございます。皆さんおっしゃるように、これはエリア、エリアで全然違うと思うんです。捉え方として、医療と介護の連携がポイントになるのですけれども、この場合は在宅医療と介護関係施設、これは各論的にはもう協力医療機関をどうするかの問題だと思います。これが一番大きいところですよ。それだと、入院がどうするかとなると、介護施設からの救急搬送なんですね。その辺のところが一番のポイント。でも、両方に大きなハードルになっているのが、介護の人材不足、医療も人材不足、特に看護学校なんて、もう定員割れですから。そういう大きな問題が立ちまわっていて、これが本当に進むのかというのが懸念点としてはあるのですけれども、論点としてはそれでやっていくしかないのかなと思います。

以上です。

(石原会長)

貴重な意見をありがとうございます。本当にいろいろやっていくうちに、いろんな問題が出てくるのではないかなと。高齢者救急だとかそういうものも絡んでくるのだと思いますけれども、ありがとうございました。

ほかにはどうでしょうか。大丈夫ですかね。それでは、一応本日の議事は全て終了しましたということで、会議の進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。それでは、マイクを事務局のほうにお戻しいたします。よろしくお願いします。

閉 会

(事務局)

石原会長、ありがとうございました。また、委員の皆様、本日はお忙しい中、お集まりいただき、活発にご議論いただきまして誠にありがとうございました。本日の議論を踏まえまして、今後の取組を進めてまいりたいと思います。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。